

◆ 第1回竜神地域会議 会議録 ◆

日時 平成30年4月24日(火) 19:00~20:50
場所 竜神交流館 大会議室
出席者 委員 : 20名
事務局 : 野田支所長、下川副支所長、川合副主幹、西村主査、
岸田主査
オブザーバー : 今吉竜神交流館長、地域保健課 加藤担当長

- 次第
- 1 支所長あいさつ及び事務局紹介
 - 2 オブザーバー紹介
 - 3 第7期(平成30・31年度)地域会議委員の自己紹介
 - 4 竜神地域会議の予定
 - 5 連絡事項
(1) 平成29年度わくわく事業実績発表会の報告について
 - 6 協議事項
(1) 竜神地域会議会長、副会長選出について
(2) 平成30年度わくわく事業について
(3) 平成30年度地域予算提案事業について
 - 7 その他

■議事(要約)

- 1 省略
- 2 省略
- 3 省略
- 4 竜神地域会議の予定について
表面には定例会とわくわく事業に関わる予定を記載した。裏面には地域予算提案事業として市が行う講座等を記載した。今後、変更や追加があれば随時報告をしていく。地域予算提案事業の講座等については、参加必須ではないが、是非、地域住民として御参加いただきたい。
- 5 省略
- 6 協議事項
(1) 竜神地域会議会長、副会長選出について
豊田市地域自治区条例第10条に基づき、委員の互選により、会長は近藤昭裕委員(竹中)、副会長は岡本廣委員(土橋)に決定。

(2) 平成 30 年度わくわく事業について

【決定事項】

全ての団体をプレゼンテーション方式で審査する。発表順は事務局案を採用する。

【協議内容】

わくわく事業補助金交付要綱及び予算科目表、事業の流れ、各団体の申請書、評価シートについて説明。団体の発表方法、発表順について協議。最後に団体関係者に該当する委員の確認をした。

<委員> わくわく事業審査会の成立要件は、何名の委員の出席が必要か。また、発表順について、今回に関しては 500 万円の上限を超えてないので良いが、本来は新規団体及び継続 3 年以内の団体から審査し、残った補助金の中で 4 年目以降の団体を補助するのが良いと考える。そのため、その際は発表順も新規団体及び継続 3 年以内の団体を先に審査し、4 年目以降の団体は最後に審査する方法が良い。最後に、わくわく団体の活動について、よい活動であれば広めていきたいし、審査会でプレゼンテーションを聞くより実際に見てみたほうが良いと思うので、活動を現認させてもらうことは可能か。

<事務局> 成立要件については確認する。発表順について、上限の 500 万円を超えた場合はもちろんであるが、今回についても提示している順番は事務局案なので、この場で協議をしていただきたい。わくわく団体の活動見学については、補助決定後に団体に見学してよい活動日を事務局が確認・調整するため、委員にはその後に活動を見学していただくことになる。今回の審査会の前の見学は調整が難しく、交流館のホールに昨年の活動を紹介したパネルを展示しているので、参考にしていきたい。

<委員> 今から団体がプレゼンテーション資料を作成するのは期間として可能か。可能であれば、すべての団体がプレゼンテーションでアピールしてもらったほうが団体のことがよく分かって良い。

<事務局> 団体へはプレゼンテーションになる可能性がある旨を説明しているため、問題ない。全ての団体がプレゼンテーションを行うということでよいか。また、今回に関しては 500 万円の上限を超えていないため、事務局案の順番でよいか。

<委員> 異議なし。

(3) 平成 30 年地域予算提案事業について

【決定事項】

事業検討を分科会で行うかどうかは、会長と相談して決定する。

【協議内容】

地域予算提案事業の今後のタイムスケジュール、平成 30 年度から実施する「メタボリックシンドローム対策による竜神げんきプロジェクト」、昨年度から検討してきた別の新規事業について説明。また、地域保健課より地域予算で作成・全戸配布する健康リーフレットと地域健康カルテについて説明。

<事務局> タイムスケジュールにあるように、8 月までに平成 31 年度の事業計画を立てて予算を組まなければならない、非常にタイトなスケジュールである。そのため、次の定例会から委員を「健康事業」「新規事業」の 2 つの分科会に分け、検討してはどうか。

＜委員＞昨年度は、地域予算提案事業の検討について、時間がなく、十分な検討ができなかったと感じている。そのため、分科会もよいが、これまでの定例会の検討資料や、ふれあいまつりのアンケート結果等を委員に配布したほうがよい。

＜事務局＞次の定例会までに委員に郵送する。また、分科会についても会長、副会長と相談しながら決めていく。

＜委員＞地域予算提案事業は「健康事業」と「新規事業」をやらないといけな
いということか。

＜事務局＞そういうことではない。1地域2,000万円という上限の中であれば、他の事業も検討・立案することが可能であるということである。地域会議が「健康事業」のみを行っていくということであれば、それでも良い。

- 次回の予定
- 5月20日（日）PM1：00 平成30年度わくわく審査会
場所：竜神交流館 大会議室
 - 5月22日（火）PM7：00 第2回定例会
場所：竜神交流館 大会議室